

地域の畜産業を牽引するふるさとづくり (平成17年度認定)



地域の畜産家で組織する和牛改良組合は、20代の若い畜産家が役員を担っており、母牛の改良で、和牛の品質向上をめざし取り組んでいる。

組合では、定期的な毛刈り、削蹄講習会や、種牛や繁殖技術に関する情報収集や先進地視察による改良技術を研究するほか、役員が中心となって、子牛や母牛の共進会を主催し、改良技術の成果を評価している。

家畜の改良と増殖を図り、優秀な種畜の育成と地域の畜産振興を図るため毎年開催する、糸満市畜産まつり、南部地区畜産共進会、沖縄県畜産共進会では、良質の子牛・成牛を出品し、常に高い評価を得ており、「地域の畜産業を牽引」している。

地域では、歴史ある古い民家の佇まいが今でも数多く残っている。

また、飼料として造成している草場が良好な景観を形成しており、特に刈り取り後は敷き詰めた緑のじゅうたんを思わせ、訪れる人の心を和ませている。

